

問1 オーストラリアの輸出構造において、1960年代には羊毛や小麦などの農産物が大きな割合を占めていましたが、近年は鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出の柱となっています。このような変化が起きた背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 日本や中国など、アジア諸国の経済発展と工業化に伴い、鉄鋼生産のための原料やエネルギー資源の需要が高まったため。 | 2. ヨーロッパ諸国において羊毛製品の関税が大幅に引き上げられたため、輸出先をアジア向けの鉄鉱石に完全に切り替えたため。 | 3. アジア太平洋経済協力会議（APEC）の合意により、オーストラリアは農産物の輸出を禁止し、鉱山開発に専念することになったため。 | 4. 世界的な異常気象によってオーストラリア全土で農業が衰退し、輸出できる農産物がほとんど生産できなくなったため。 |
|--|--|---|---|

問2 オーストラリアの人口密度は1平方キロメートルあたり約3人と、世界的に見ても極めて低い数値となっています。このように広大な国土に対して人口密度が非常に低い状態となっている主な要因として、内陸部の自然環境について説明したものととして最も適切なものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 国土の大部分が乾燥した砂漠や草原であり、農業や居住に適した地域が限られているため | 2. 国土の大部分が標高の高い険しい山脈で占められており、都市開発が困難であるため | 3. 国土の大部分が永久凍土に覆われた寒冷な気候であり、資源開発が制限されているため | 4. 国土の大部分が熱帯雨林に覆われており、年間を通じて降水量が多すぎるため |
|---|---|--|--|

問3 オーストラリアの輸出相手国の変化について、かつてはイギリスなどの欧米諸国が中心でしたが、近年ではアジア諸国が大きな割合を占めるようになっていきます。この変化の主な要因として、輸出品目の変化と関連付けて説明したものととして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2023年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. アジア諸国において羊毛を用いた伝統的な衣服の需要が急激に高まったため。 | 2. 欧米諸国での人口増加にともない、羊毛や小麦などの農産物の輸出を制限したため。 | 3. アジア諸国の工業化にともない、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源の需要が高まったため。 | 4. 欧米諸国との貿易摩擦を避けるために、輸出先をあえて近隣の島嶼国に限定したため |
|--|---|--|---|

問4 世界地図において、太平洋上のオーストラリア南東に位置するニュージーランドが、日本よりも早く日付が変わる理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. ニュージーランドは南半球に位置しており、北半球の日本とは季節が逆転しているため。 | 2. ニュージーランドは日本よりも面積が小さく、太陽が通過する時間が短いため。 | 3. ニュージーランドは日本よりも東に位置し、日付の基準となる日付変更線により近いため。 | 4. ニュージーランドを本初子午線が通っており、世界の標準時の中心となっているため。 |
|---|---|--|--|

問5 ブラジル内陸部の広大な草原地帯である「セラード」で行われた開発の背景と、その後の状況について述べた文として適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 海底油田から得られる豊富な資金を投入し、コーヒーのモノカルチャー経済を維持するための灌漑施設が整備された。 | 2. 熱帯雨林を保護するために一切の農地転用を禁止した結果、牧草地としての利用が中心となっている。 | 3. 日本との協力によって酸性の不毛な土地を改良する開発が進められ、現在では世界有数の大豆の産地となっている。 | 4. 関税の撤廃協定を結んだ周辺諸国から安価な肥料を輸入し、サトウキビの生産に特化した大規模農園を建設した。 |
|--|---|---|--|

問6 南アメリカ大陸を、西側の太平洋沿岸から東側の大西洋沿岸まで直線的に横切った際の地形断面の特徴について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 大陸の中央部が最も標高が高く、太平洋側と大西洋側の両方の沿岸部に向かって標高が低くなる。 | 2. 西端に標高4000メートルを超える険しいアンデス山脈がそびえ立ち、東に向かうにつれて標高が低くなる。 | 3. 太平洋沿岸から大西洋沿岸まで、標高1000メートル程度のなだらかな高原が一定の高さで続いている。 | 4. 大陸の西側は広大な平地が広がり、東側の大西洋沿岸に近づくにつれて急激に標高の高い山脈が現れる。 |
|---|---|---|--|

問7 近年、世界各地で推進されているエコツーリズムの目的や考え方として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 自然環境を厳重に保護するため、観光客の立ち入りを全面的に禁止し、学術調査のみを行うこと | 2. 農村に長期間滞在し、伝統的な農業技術の習得や農産物の収穫体験を通じて、都市と農村の交流を図ること | 3. 大規模なリゾート開発を優先し、短期間で多くの観光客を呼び込み、地域の経済利益を最大化すること | 4. 地域の生態系を保全しながら、その価値を伝える体験学習などを通じて、環境保全と地域振興を両立させること |
|--|---|---|---|

問8 オーストラリアが旧宗主国であるイギリスなどヨーロッパ諸国との結びつきから、中国や日本などのアジア諸国との結びつきを強めるようになった背景として、最も適当な説明はどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 北アメリカ諸国との貿易摩擦が激化し、すべての貿易品目を食料品のに制限する政策をとったため。 | 2. ヨーロッパで産業が衰退し、工業製品の輸入元をアフリカや南米へ切り替える必要が生じたため。 | 3. イギリスのEC（現在のEU）加盟による関係変化や地理的な近さを背景に、資源や農産物の輸出先として急速に成長するアジア諸国との経済的関係を強化したため。 | 4. アジア諸国との間で関税を撤廃する広大な単一通貨圏が完成し、貿易相手をアジアだけに限定したため。 |
|--|---|--|--|

問9 オーストラリア南東部の気候について、雨温図などの資料から読み取れる特徴を述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 温帯に属し、南半球にあるため、1月付近に気温のピークがあり、降水量は年中安定している。 | 2. 冷帯に属し、高緯度にあるため、1月付近に気温のボトムがあり、年間を通じて降水量は少ない。 | 3. 温帯に属し、北半球にあるため、7月付近に気温のピークがあり、梅雨の影響で6月の降水量が多い。 | 4. 熱帯に属し、南半球にあるため、7月付近に気温のピークがあり、雨季と乾季がはっきりしている。 |
|--|---|---|--|

問10 日本の東京を通る経線と、世界の大陸の位置関係について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 東京から真南に進むと、赤道を通過する前にユーラシア大陸の最南端に到達する。 | 2. 東京とオーストラリア大陸は経度が大きく異なるため、地図上では真南に位置しない。 | 3. 東京を通る経線を南にたどると、南半球にあるオーストラリア大陸を通過する。 | 4. 東京を通る経線は、大西洋を南北に貫き、アフリカ大陸の西側に位置している。 |
|--|--|---|---|